

## 第5回札幌市災害時物資供給検討会 議事概要

### 1 日時

令和6年12月5日（木）15時00分～17時00分

### 2 会場

TKP札幌駅カンファレンスセンター3階ホールB

### 3 出席団体

#### 【学識経験者】

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

#### 【小売】

イオン北海道株式会社／株式会社サッポロドラッグストア／株式会社セコマ／株式会社セブン-イレブン・ジャパン／株式会社ラルズ

※NPO法人コメリ災害対策センター／株式会社ローソンは欠席

#### 【輸送】

一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワーク／佐川急便株式会社／日本通運株式会社／北海道福山通運株式会社／ヤマト運輸株式会社

※一般社団法人札幌地区トラック協会は欠席

#### 【倉庫】

札幌倉庫協会

#### 【行政機関】

北海道運輸局／北海道開発局／北海道／札幌市

### 4 議事

#### (1) 札幌市災害時物資供給マニュアル素案について

ア 札幌市災害時物資供給マニュアル全体版

イ 札幌市物資集積拠点運営マニュアル案

大和ハウス プレミストドーム編

札幌市スポーツ交流施設 コミュニティドーム（つどーむ）編

農試公園ツインキャップ編

### 5 主な意見

#### 【札幌市災害時物資供給マニュアル全体版について】

〔物資提供依頼に係る様式〕

○車両手配問合せ票について、冷蔵や冷凍等、車両の仕様も追加できるような欄がある

と良い。

- 物資問合せ票について、どの輸送事業者に物資輸送を依頼しているのか分からない箇所があったため、追加が必要。
- 物資発注票について、車両番号、集荷予定日、時間帯を誰が記入するのか記載されていないため、追加が必要。

➤ 様式に必要な項目を追加する。

〔物資発注の流れについて〕

- 市側から小売事業者に対し、物資提供可否について確認後、改めて正式発注の連絡を行う流れについては問題ない。
- 自社センターに在庫を持っているものは、問合せがあった際に提供可否は判断でき、自店舗への配送分から回せるかの判断になるため問題はない。
- 一方で自社センターに在庫がなく、要請を受けてメーカーに問い合わせたものに関して、メーカーはいつまで押さえておけばいいのかというせめぎ合いが始まる。
- メーカーも複数の小売事業者から問合せがあるという状況になると困る部分があると思う。これが課題になるところ。

〔パレットの回収について〕

- 物資集積拠点で使用したパレットについては、輸送事業者にオーダーすれば、パレットを積んでメーカーや小売に返すことはできる。来た時に返すということを前提にするよりは輸送事業者にオーダーいただくことを前提に組んだ方がやりやすいと思う。
- 小売事業者から輸送事業者の車両に物資を積み込む際、パレットの移し替えはロスが出るため、後日違う車両で回収ということが一般的である。

➤ 輸送事業者に回収を依頼する形で検討する。

【札幌市物資集積拠点運営マニュアル案について】

〔農試公園ツインキャップ編〕

- 過去に訓練でツインキャップを使用した際、実際に大型の車、4 t車も入ったが、入口が傾斜になっている。トラックが後ろで下がってきても斜めになっているので、パレットを下す際などに危険な状況だったと印象に残っている。変わっていなければ、中がすべて土だったので、運営は大変だと思う。
- 改修で中がどう変わるかによってその検討は改めてし直してもよいのではないか。

➤ 農試公園ツインキャップの改修工事が終わる令和7年4月以降、現地を確認し、運営方法等を検討する。

〔各拠点のライフライン等について〕

- 物資集積拠点のエネルギーの種別、水道の有無、失われた場合の想定はあるか。
- 電気が使用できない場合の対応、常駐するスタッフの休憩場所、トイレ等の想定をしておく必要がある。拠点内で働くスタッフのケアをどうするかということは組み込んだ方が良い。
- 拠点内の非常用発電設備について、優先的に電力が必要なもの、照明、シャッターやエレベーターといったものがどこまで動かせるかという点は確認しておいた方が良い。
  - ライフラインの状況について、確認をしたうえで、マニュアルに反映する。